

2025年度いしかわビジネススクール ITリーダ育成コース

● ITプロジェクトを成功させるリーダ育成

新規開発製品において、プロジェクトの実務を確実かつスムーズに進めることはITプロジェクトリーダのスキルにかかってきます。

本コースでは、ITプロジェクトリーダの基本的なスキル習得とケーススタディを通して、成功させるITプロジェクト推進を学んでいただきます。

研修の特長

- ・集合研修の形式で実施します。
1講座／1日で進め、講義・ケーススタディを理解。与えられた課題についてグループワーク議論、発表していただきます。
- ・最終日のファイナルプレゼンテーションでは、ビジネスプランを策定し、発表します。

今です。あなたは **生成AI** の議論もできるようになります。



学習のゴール

- ・ITプロジェクト推進のための必須項目を体系的に習得。
- ・ITプロジェクトを成功に導く手法を学習。
- ・今そして将来に必要な最新ITテクノロジーのポイントを習得。
- ・これからのITプロジェクトリーダーをめざす人間力を育成。
- ・今後の事業・業務についてプレゼンテーションにまとめ発表することで、まとめる力とアピールする力を実践を通して養う。

受講対象

ITリーダ及び候補者

受講定員：15人

研修期間

2025年12月11日(木)～2026年3月13日(金)〈8日間〉

受講料

140,000円(税抜)

講師

4名(経営コンサルタント、ソフトウェアエンジニア等)

お申込みは以下のURLを参照ください。
<https://www.ishikawa-sc.co.jp/howto/>



カリキュラム構成

オリエンテーション

<集合研修>

講義
ケーススタディ
グループワーク

<事前学習>

事前
課題

- ①テクノロジーとデジタル未来
- ②リーダシップ
- ③ソフトウェア開発環境
- ④ビジネスマーケティング
- ⑤テクノロジー活用
- ⑥プロジェクトマネジメント入門

自宅学習＋レポート提出

- ⑦プレゼンテーションまとめ

⑧ファイナル・プレゼンテーション



講義



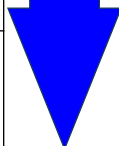
グループワーク



ファイナルプレゼン

研修内容及びスケジュール

学習した内容を発表に反映



日時		講座名	内容
1	12月11日(木) 9:00~9:15	オリエンテーション	●オリエンテーション（自己紹介、概要説明）
	12月11日(木) 9:15~17:00	テクノロジーとデジタル未来	業界トレンドと未来スキル要件を学ぶことで自己成長のプランニングを行っていただきます。 現在の自己評価と自社製品の分析と将来への適合性を評価することで、ギャップを認識して穴埋めをするアプローチと戦略を考える力を育成します。
2	12月25日(木) 9:00~17:00	リーダーシップ	チームでの成果を上げるためには、何が必要であるのかを理論と演習にて進めていきます。当然、コミュニケーション力、チームマネジメントにも関わってきます。
3	2026年 1月8日(木) 9:00~17:00	ソフトウェア開発環境	システム開発を行うためには、効率よく業務を進めることができる開発環境が必要です。開発環境の種類、整備方法から、将来にむけて競争力のある開発環境について学びます。一方、セキュアなシステム構築に向けた取り組みも学びます。
4	2月5日(木) 9:00~17:00	ビジネスマーケティング	顧客獲得はビジネス継続には必須条件です。顧客関係のアプローチからマーケティングの基本原則を学びます。更に、ブランド構築と市場への進出戦略にてビジネスの拡大を図ります。
5	2月19日(木) 9:00~17:00	テクノロジー活用	日々進化が起きているIT業界において様々なテクノロジーが発生しています。DX、デジタルイノベーション、データサイエンス、WEB3.0、AI次々と出てくるテクノロジーを理解して次のビジネスモデルを考察する力を身に付けていただきます。
6	2月26日(木) 9:00~17:00	プロジェクトマネジメント入門	プロジェクトマネジメントのPMBOKを中心に基本を学んでいただきます。プロジェクトの目的と目標、WBS作成演習、ネットワーク図といった基本的なメソッドを学習して、プロジェクトの計画、見積もりが出来るように訓練していただきます。
7	3月5日(木) 9:00~17:00	ファイナルプレゼンまとめ	ファイナルプレゼンテーションに向けた内部発表にて受講生による議論と統括講師の助言を受ける。
8	3月13日(金) 13:00~17:00	ファイナルプレゼンテーション	学習した内容をプレゼンに反映 ●ビジネスプランの発表 ●質疑 ●まとめ・講評

企業団体様からの期待 と 受講者の声

- ・他のIT開発企業だけでなく製造業、サービス業のIT部門の方と課題に取り組み、業界の進み方を学びたい。
- ・座学だけでなく、多くの演習、グループワークを通じて理解を深めたい。
- ・システム開発においては、多くの人材が必要となってきますが、チームを引っ張って行くリーダークラスが不足している。リーダー人材を育成したい。
- ・新しいテクノロジーの見極め方から、どのように利活用することができるのか、期待しています。
- ・アウトプットに対しての具体的な指示を受けることが現場ではなく、今回多くの指摘を受けることができ新鮮であった。
- ・まだ先と思っていたAIを利用したコーディングが意外と簡単に始められ、十分に使いものになるとわかった。